



日本設備工業新聞

発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 年額8,800円(税送料込)

撮影
 株式会社アカギ
 小川和男氏
 群馬県・八ツ場
 あがつま湖

環境大臣・兼内閣府
 原子力防災担当大臣



小泉進次郎

より持続可能で強靱な 経済社会へリデザイン

明けましておめでとう
 ございます。新たな年を
 迎え、環境行政に対する
 国民の皆様の御期待に応
 えらるよう決意を新た
 にし、御挨拶を申し上げ
 ます。

環境省は、今年、環境
 庁創設から五十年、環境
 省設置から二十年の節目
 を迎えます。この間、公
 書問題から気候危機へと
 課題が大きく変化する中
 で、環境省は、水俣病を
 始めとする原点を忘れる
 ことなく、「脱炭素社会
 への移行」、「循環経済
 への移行」、「分散型社
 会への移行」という「3
 つの移行」を通じた、経
 済社会のリデザイン(再
 設計)を一層強力に進め
 てまいります。

第一に、「脱炭素社会
 への移行」についてで
 す。菅総理の二〇五〇年
 までのカーボンニュート
 ラルの宣言を受け、「こ
 の十年が勝負」という思
 いで政策を強化していき
 ます。まず、二〇五〇年

排出実質ゼロを目指す
 「ゼロカーボンシティア
 は、約二百自治体とな
 り、人口規模では九十万
 人を超えています。地域
 における再生可能エネル
 ギーの導入拡大と地産地
 消に向けた支援を行うと
 ともに、地球温暖化対策
 推進法の改正の検討を進
 め、二〇五〇年カーボン
 ニュートラルを位置付け
 ることを目指します。

第二に、「循環経済へ
 の移行」についてです。
 プラスチック全体の資源
 循環を促進するため、新
 法を策定する可能性も含
 め、「プラスチック資源
 循環戦略」の具体化を進
 めます。

また、激甚化・頻発化
 している気象災害では、
 大量の災害廃棄物が発生
 しています。災害廃棄物
 の早期撤去を目指し、復
 旧・復興の段階に応じ
 て、切れ目なく支援をし
 ていきます。併せて、災
 害廃棄物処理に不可欠で
 あり地域のエネルギーセ
 ンターにもなる廃棄物処
 理施設の整備の支援や、
 浄化槽の整備にも引き続
 き取り組めます。

第三に、「分散型社会
 への移行」についてで
 す。近年、気象災害が頻
 発する中、自立・分散型
 のエネルギーシステムの
 普及・展開等を通じて、
 地域のレジリエンス強化
 を進めていきます。

あしたを、
 ちがう
 「まいにち」に。
TOTO

を促進するため、自然公
 園法の改正に向けた検討
 も進めます。

国際的には、気候変動
 枠組条約COP26と生物
 多様性条約COP15の開
 催が予定されています。
 COP15では、新たな世
 界目標であるポスト二〇
 二〇生物多様性枠組の策
 定に向けて、持続可能な
 サプライチェーンの構築
 や測定可能な目標設定の
 議論に貢献することも
 に、各国の生物多様性国
 家戦略の策定支援につい
 て国際連携を推進しま
 す。

間もなく東日本大震災
 から十年の節目を迎えま
 す。福島復興・再生の
 ため、除去土壌等の中間
 貯蔵施設への輸送、特定
 復興再生拠点区域におけ
 る家屋等の解体・除染、
 指定廃棄物等の処理、県
 外最終処分の実現に向け
 た減容・再生利用等を進
 めます。また、環境省と
 福島県との連携協定に基
 づき、「再生可能エネル
 ギー先駆けの地」、「ワ
 ーカーシヨンの聖地」を
 目指す福島の挑戦を支援
 します。原子力防災に関
 しては、各地域の緊急時
 対応等に基づく防護措置
 と感染防止対策の両立に
 努めていきます。

国民の皆様とともに、
 コロナと気候危機という
 二つの危機を、より持続
 可能で強靱な経済社会へ
 のリデザインにつなげる
 機会に変えていくこと
 を祈念して、新年の御挨拶
 といたします。

また、国内外からの誘
 客と長期滞在の促進や地
 域活性化への貢献を目指
 す「国立公園満喫プロジ
 エクト」を全ての国立公
 園へと展開します。国立
 公園におけるワーケーシ
 ョンの環境整備を進める
 とともに、廃屋対策など
 の景観の改善や質の向
 上、電気自動車の活用・
 優遇や再生エネの率先利用
 などにも注力します。自
 然の保護と利活用の両立

はさみ込むだけで吊棒が下げられる
エイム・シリーズ
 ユニク回めつき RoHS対応

- ・有色クロメートメッキ
- ・溶融亜鉛メッキ
- ・ステンレス(SUS 304)

こちらの仕上げも
 ございます

配管支持金具の
株式会社 アカギ

本社 〒104-8251 東京都中央区新富 1-19-2
 ☎03-3552-7331 (大代表) ☎03-3552-1877 (代表)
 ホームページ: <http://www.akagi-nt.co.jp/>
 本社 東京・事業所 代理店 全国主要都市

形綱の形状に応じてお選びください

A10256 エイム	A10257 エイム本体	A10257 エイム本体N型
傾斜対応タイプ	固定タイプ	スライド可動タイプ
A10258 エイムS型	A10259 エイムF型	
軽量固定タイプ	複合傾斜対応タイプ	